

平成 31 年 4 月 18 日

文教民生常任委員会
委員長 村岡栄紀

「民生委員・児童委員」との課題懇談会
—現状の課題と問題点—

と き：平成 31 年 3 月 28 日 16:00～17:30

ところ：生涯学習まちづくりセンター（マナビータ・プラザ）3F

参加者：民生委員・児童委員 村上昌紘会長 他 8 名
文教民生常任委員会
村岡栄紀 吉井敏恭 美土路祐子 東野敏弘 岡崎義樹 中川正則

傍 聴：細川喜美博（福祉部長）伊藤景香（社会福祉課長）村井真紀（長寿福祉課長）
正木万貴子（社会福祉課長補佐）他

目 的：現在、文教民生常任委員会では、事務事業評価項目として「高齢者見守りサポート事業」について調査・研究を行っております。その一環として、「高齢者宅の訪問」や「困りごと相談」など、地域の身近な相談相手として、必要な支援を続ける民生委員・児童委員と意見交換（活動の状況、課題、問題点、抱える悩みなど）を実施することにより、「高齢者見守りサポート事業」の意義や是非とともに、民生委員・児童委員の今後の活動のあり方について検討することを目的とします。

意見交換：

（議員）

高齢者夫婦や一人暮らしの方が増えていますが、民生委員として、このような方々との関わりの中での、悩みや問題点をお聞きしたいのですが。

1. 防災について

（民生委員・児童委員）

- ・災害時に、たくさんの車椅子の方々の避難をどうするかが課題です。
- ・例えば、津万地区の大野では、大野隣保館がすぐ近くにあるのですが、地すべり等の危

険があるということで、避難所は西脇小学校となっています。そうなる危険なところを、わざわざ避難するといったコースとなってしまいます。

- ・避難経路の問題
- ・避難中に、もし何かあったときの責任等の問題
- ・大野隣保館等の公共の施設を一時避難所にしてもらいたいです。
- ・山沿いには地すべり等の危険がありますが、川沿いにももちろん危険があります。

(議員)

災害時の安否確認等はどのようにされていますか。

(民生委員・児童委員)

- ・市から電話をもらったら、一人暮らしの高齢者の安否確認のため、自分の担当エリア分を1軒1軒回っています。そして避難を希望される場合には、送り迎えも行っています。
- ・市から夜中に電話がある場合があります。
- ・浸水等で垂直避難されている方の場合は、電話が通じないことがあります。
- ・市からは民生委員だけに電話があり、自治会にはありません。
- ・町全体の協力体制ができている自治会もあります。
- ・東日本大震災では、多くの民生委員の方が亡くなりました。
- ・防災の避難アナウンスにおいては、市のアナウンスと自治会のアナウンスでは、地元自治会のほうが断然効果があり、避難される方が多いです。

(議員)

指定避難所に関しては、遠い人は大変であり、議会でも問題にしています。なので、まず一時避難所に避難し、長期の避難になりそうな場合は、指定避難所へとするべきではないでしょうか。また、その場合の責任の所在も含めて市に申し入れを行っています。

- ・指定避難所を見直すべきであると思います。
- ・遠くまで自力でいけない人には、一時避難所が必要です。
- ・一時避難所での責任は市が負うものとするべきであると考えます。
- ・まず、地域で一番集まりやすいところに集まってもらう。そして、それでもだめなら、指定避難所に避難するような取決めを望みます。

(民生委員・児童委員)

- ・避難を求めても、「家のほうが安心だ」と、ほとんどの方が避難されません。比延小学校の放課後教室が避難所になっていますが、怖いからといって避難される人は5人くらいです。
- ・芳田地区の避難所は西脇南中学校と重春小学校ということで非常に遠く、野間川沿いに

避難しなければならず、夜間などは大変です。なので、地区で候補地を探したいという意向があり、民生委員も自主防災組織の一役を担うことにより、組織の充実を目指したいです。

(議員)

避難所の体育館にはテレビやエアコンがないので、長期になる場合には、移動式のエアコンの設置の申し入れをしています。また各地区公民館にはテレビやエアコン、調理室もあります。

(民生委員・児童委員)

防災訓練は自治会主体で、区長や町内会長が中心となって行っていますが、参加してほしい人（高齢者等）がなかなか集まらないのが現状です。

(議員)

防災訓練のサイレンがうるさいということで、ある自治会では、事前に「サイレンが鳴りますよ」といった、防災訓練の告知を行っています。

(民生委員・児童委員)

- ・自主避難の声掛けをしていますが、どこにも避難しないという人が多いです。
- ・無理して一人で行動しないよう声掛けを行っています。
- ・民生委員は自主防災会における避難誘導班の班員ですが、役割等が明確化されていないので動きにくいです。今後、役割等を明確にするよう申し入れたいと考えています。
- ・避難所である日野体育センターでは多くの人を収容できません。

2. 高齢者の見守り等について

(議員)

最近ではマンションがオートロックになったりしていますが、実際に高齢者の方と出会えていますか。

(民生委員・児童委員)

- ・出会えています。
- ・民生委員はネームバリューと信用があるので、高齢者や障害者の方など、どなたも安心して出会って下さいます。

(議員)

以前は愛育班の方が訪問カードを持って回られて、その結果等を民生委員につなげていたと聞きますが。

(民生委員・児童委員)

- ・愛育班と民生委員では訪問する家が変わります。
- ・一人暮らしの高齢者や、認知症の方と、市とを結ぶパイプ役であり、昨年は徘徊する認知症の方を2人見つけました。
- ・民生委員だけが持つことのできるデータである福祉票を活用し、災害時の安否確認等を行っています。
- ・自治会とはコミュニケーションがとれていないので、負担が大きく感じます。
- ・ケアマネさんに繋ぐまでが大変です。

(議員)

出会えない場合もあるのですか。

(民生委員・児童委員)

- ・しょっちゅうあります。そのような場合は、書き置きしたりFAXで対応しています。
- ・耳の不自由な方への伝達が難しいです。

(議員)

認知症の方に関しては何かありますか。

(民生委員・児童委員)

- ・その人が認知症であるとは、福祉票には書かれていません。
- ・見た目では徘徊されているのかどうか、わかりません。
- ・(逆な意見で) 認知症であるかは、歩いているのを見たらわかります。
- ・認知症の徘徊のように感じて、確信がないとなかなか声をかけられません。
- ・認知症を知られたくない人もいらっしゃいます。
- ・お店に行って、いくらでも商品を買ってしまうような方には、お店の方に前もってその方の状況を伝えておきます。
- ・ケアマネさんに繋ぐのが仕事です。

(議員)

協力委員さんに関して何かありますか。

(民生委員・児童委員)

- ・協力委員さんの存在は非常に助かっています。
- ・協力委員さんと一緒に訪問して、行方不明のものを探し出したケースがありました。

3. 高齢者見守りサポート事業について

(議員)

市から委託されて、民間業者が高齢者訪問サービスを行っていますが、このサービスに関し
てどのように捉えていますか。

(民生委員・児童委員)

- ・民生委員が募集・勧誘をしましたが、申込者は非常に少ないです。(350戸で3人という集落もあります。)
- ・利用者は少ないです。
- ・月1回業者の人が、荷物がなくても来てくれるのは、人によっては邪魔だと感じる人もいれば、わざわざ来てもらうのが申し訳ないという人もいらっしゃいます。
- ・弁当の宅配業者のほうが役に立つと感じます。弁当は毎日の配達なので、もし弁当を渡せなかったら、何かあったと気づきます。
- ・山奥じゃないので、あまり必要ないです。
- ・宅配業者の人は非常に誠実に対応しておられて、感謝しているとの声もあります。
- ・わざわざ来てもらうのが申し訳ないから、今は必要ないと遠慮している人も多いです。
- ・楽しみにしている人もいますので続けてほしいです。
- ・ケアマネさんのいる人は利用できません。
- ・月1回では少ないので、今は隣近所の人が頼りだという人もあります。

4. 主任児童委員について

(議員)

気になる子どもに関しては、学校を通じて連携がとれていますか。

(民生委員・児童委員)

- ・一般的には、なかなか動きようがなく、働きかける方法がないので、そのために主任児童委員の存在があります。

(主任児童委員)

- ・児童に関するたくさんの研修があります。
- ・人間関係をつくる事が大切です。まずは先生に対して、主任児童委員の「人」を知って

もらうことが肝要です。

- ・長年やっていると、お母さんと何でも言い合える関係になっています。
- ・虐待に関しては、当事者から聞いたときは「こども福祉課」に通報します。
- ・色々な相談があり「こども福祉課」と連携しています。
- ・不登校の場合は親と関わることにより改善するケースもあります。
- ・当事者と担任の先生とのパイプ役になり、時には先生に「思いが伝わっていないですよ」とアドバイスすることもあります。
- ・問題が解決した場合もあれば、解決しなかった場合もあります。
- ・子育てに悩んでいるお母さんが多いです。

(民生委員・児童委員)

- ・就労継続支援などの給与等に関して、能力に応じた待遇にしてもらいたいです。

5. 民生委員・児童委員の後継者問題

(議員)

委員の後継者問題などについてお聞かせください。

(民生委員・児童委員)

- ・次の委員を受けの人がなくなってきています。
- ・定年は75歳ですが、地域によっては、人がいない場合は特例を設けています。
- ・区長が一番困るのが民生委員の選出です。
- ・区長が困って、奥さんに依頼するというケースもあるようです。
- ・自治会の役を受けたら、次に民生委員になると取り決めている自治会もあります。

(議員・委員長)

民生委員・児童委員の皆さんの活動は非常に多岐に渡っており、大きな地域貢献となっていることがよくわかりました。次回は、委員の皆さんが直面されている課題や問題点について、実際にどうすればいいのか、委員会として意見交換をさらに深めていきたいと思えます。